

さわやかな歌声

ホットなサークル活動

大篠小PTAママさんコーラス部

「心と心のきずなを大切に、子供の教育や家庭生活の励みになれば」と、ホットなサークル活動を続けているお母さんたちがいます。「大篠小PTAママさんコーラス」(平井喜子部長)という名のグループで、二月十六日には県下で声



向原先生の指導に熱心に聞き入るママさん

楽の第一人者といわれる高知大学の向原寛教授を招いて、歌うときの姿勢、呼吸の仕方、声の出し方など、音楽の基礎的な知識からハーモニイまで約二時間の特訓を受けました。

この「ママさんコーラス」ができたのは昭和五十七年六月のこと。大篠小のPTAが事業・文化・生活・広報の四つの部活動をしている中で、文化部では「ママさんコーラスをやってみよう」との話が持ち上がり、お母さん方に呼びかけたところ十七、八人が集まってスタートしたものです。

以来、コーラス部は毎週土曜日の午前中に約二時間の練習を重ね、今では会員も二十六人となり、レパートリーも二十曲ほどまでになっています。

この日は、女声二部合唱による「荒城の月」のレッスンを受けましたが、練習の終わりころには一段と上手になり、会員のみなさんは

自信を深めたようでした。団長の平井喜子さんは「いっしょに歌ってみたい人がいれば、どうぞし参加してほしい。六月に開

「幼児画展」にぎわう

子どもたちのかわいい作品がいっぱい——今年で十八回目を迎える市保母会(星沢一子会長)主催の「幼児画展」が、二月十八日から三日間後免町公民館で行われました。

出品は、市内十保育所の一歳半から五歳までの幼児の作品三百五十点。夢いっばいの絵、鬼の面、和紙を使った手作りたこ、色のきれいな紙粘土細工など展示作品は豊富。



かわいい作品に楽しそう

かれる「県合陽祭」では、ぜひともいい成績をあげたい」とはりきっています。

や親子連れなど約三百二十人が訪れ、その出来栄に目を細めていました。また、保育所の園児たちが連れ立って見学に訪れ「これ、ぼくのだよ」「○○ちゃんのがあるよ」と、見つけ出しては大喜びでした。



「サービスがよくなったなー」



ご家庭で話し合って答えてください。答えは、この広報に出ています。

■もんだい・急ピッチで学校建築が進んでいる大篠小、〇〇中が3月末に完成します。

■しめきり・3月15日
■あて先・〒783 南国市大浦甲2301 南国市役所内広報委員会親子クイズ係
■答えのハガキには必ず、住所部落名・氏名・年齢・職業を書いてください。

■賞品・特賞千円〇三人、残念賞(記念品)〇五人

第146回正解者発表(敬称略)

(応募総数39通)

- 答え・南国(2)〇り館
- 特賞・千円〇三人
中澤りさ(大浦)
- 徳橋淳(函分)
- 上村文香(西山)
- 残念賞・記念品〇五人
西川尚志(比江) 武田明子(岡豊町) 古巻雅也(立田) 植田雅子(岡豊町) 福重賢代(福生)

元気いっばい少年剣士

蔵福寺奉納試合「屋内戦」に



寒さを吹きとばす豆剣士

春を呼ぶ、田村蔵福寺(永吉妙真住職)の春祭りが、二月十二日(この春祭りは、少年剣士による)行われました。

「野試合」が行われることで有名で、青少年の健全育成や心身の鍛錬を願って、昭和三十七年からの恒例行事となっています。

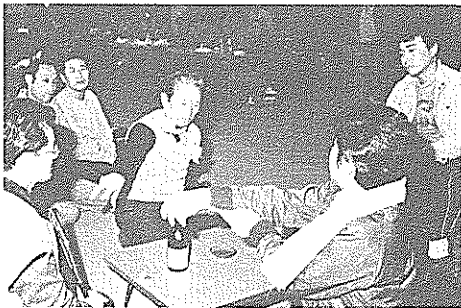
この日は朝からあいにくの雨。このため、近くの日章小体育館での「屋内戦」に切り替えられました。

市内の長岡・大篠剣道教室や高知市の道場から約百五十人のチビ

ッ子剣士が参加。まず、県剣道連盟の居合道、なぎなた道の奉納演武に続いて、待ちかねたチビッ子たちの紅白戦。

剣士の面には色とりどりのゴム風船がつけられ、合図と同時に相手の風船をめがけて竹刀が入り乱れ、体育館いっばいに「エイ」「ヤー」の歓声が響きわたっていました。

土儀に分かれ、トーナメント方式で団体戦から開始。試合が進むにつれ酒も入り、威勢のよい声が響き、仲間の健闘にもさかんな声援が飛んでいました。



「さあ、こいと気合も入ったはし拳大会

200人の拳士が競う 土佐はし拳南国場所

おでかけの課長つかまえ判一ツ 岡豊町 橋田井波

もう二度と呑まぬと誓ふ兒の寝顔 十市 沢村鶴一

下校道小川のメダカつめたぞう 十市 武市元将

南国柳壇

南国俳壇

うす青き麦笛口にひろがりし 記憶のままに野をかえり来ぬ 立田 島田美津子

冬の朝のしじまのなかに園分寺の 梵鐘の音長く尾をひく 西島 門田美枝子

雷震とまがいおそれしジェット機 の 轟音ともなれて相月ま注ぐ

抵抗のころ空しくふるさとに いま開発の杭うたれいる 嶺石 唐岩 勇

幼らの玩具いくつか残されし 静かな部屋に風の音きく 岡豊町 武植信子

野火放つ比江野の鷺に見張りさせ 初鏡真白き尾根を斜に入れて 源流もつららとなりてと滴 豆撒きの子にはね返る鬼の豆 春を待つ裁屑糸屑身にまことひ 羅あとの秤に乗りて鮎漁夫 寒雀木の葉のごとく飛び来たり 元朝や日輪排す毬百寿 寒月や法華の太鼓高くなり

和泉えい子 (忍冬句会)

水田ますき ()

川村ひろ ()

長谷弘子 (天狼俳句会)

北川京子 ()

中村祭生 ()

斉藤淑美 (おがたま会)

佐竹悦美 ()

森田利津 ()